

1-1 子育て支援の充実

事業費 69億 54万円

財 源	国のお金	27億8,294万円	施 策 実 現 の た め の 費	子どものための教育・保育給付費	32億2,443万円
	県のお金	14億 378万円		児童手当給付費	9億8,521万円
	市の借金	2億8,050万円		福祉医療費	7億8,036万円
	その 他	1億5,744万円		保育所整備助成事業	4億3,016万円
	市のお金	22億7,588万円		その他	14億8,038万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちを目指します

主な事業

◆若者出会い・結婚生活応援事業（1,710万円）

【若者交流事業】

独身男女の出会いの機会創出のため、出会い系イベントの開催などに要する経費を補助します。また、あきた結婚支援センターに入会する際の入会登録料を負担します。

【三世代同居等促進住まい支援事業】

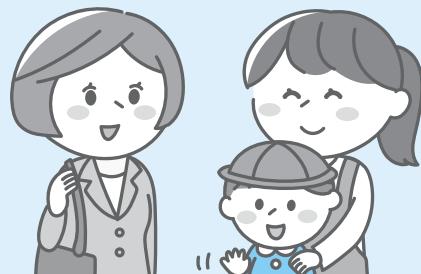
新たに親元等と同居又は近居しようとする中学生以下の子を持つ世帯を対象に、住宅の取得費用や増改築費用の一部を補助します。

【結婚新生活支援事業】

夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下で、一定の所得要件を満たす新たに婚姻した夫婦を対象に、婚姻に伴う引っ越し費用や住宅取得費用などを補助します。

◆放課後児童健全育成事業（3億2,293万円）

放課後や学校休業日に保護者が就労などにより家庭にいない児童を対象に、遊びや生活の場を提供します。



◆保育支援事業（1億6,794万円）

保護者の保育ニーズに応じ、保育所等において、延長保育や病児保育、一時預かりなどの子育て支援のための各種事業を実施します。事業を実施する保育所等に対し、経費の一部を補助します。

◆保育所整備助成事業（4億3,016万円）

社会福祉法人が実施する保育所の整備に対し、経費の一部を補助します。

◆保育士等処遇改善臨時特例事業（5,104万円）

保育士等の賃金改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行う保育施設等に対して、賃金改善を行うために必要な費用を補助します。

放課後児童支援員等の賃金改善のため、賃上げ効果が継続される取組を行う放課後児童クラブに対して、賃金改善を行うために必要な費用を補助します。

◆子どものための教育・保育給付費（32億2,421万円）

「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所等に対する財政支援を行います。また、保育施設等を利用する保護者に対して保育料や副食費等の助成を行います。（所得制限あり）

◆任意予防接種助成事業（2,338万円）

予防接種法に基づく各種任意予防接種を行い、感染、発病、重症化、感染症まん延の防止を図ります。

1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 40億 4,785万円

財 源	国のお金	3億6,393万円	施 策 実 現 の た め の 費	後期高齢者医療制度費	14億4,939万円
	県のお金	5億7,014万円		病院事業費	8億1,825万円
	市の借金			国民健康保険特別会計繰出金	8億1,727万円
	その他の	1億8,892万円		緊急医療対策事業	2億5,661万円
	市のお金	29億2,486万円		その他	7億 633万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

主な事業

◆医療体制整備事業（5,429万円）

休日診療・救急医療を充実向上させ、救急医療知識の普及啓発を図ります。

◆予防接種事業（2億4,476万円）

予防接種法に基づく定期予防接種を行い、感染、発病、重症化、感染症まん延の防止を図ります。

◆健康の駅推進事業（1,940万円）

大規模健康の駅、中規模・小規模健康の駅における健康づくりを指導します。また、健康な心と体づくりプロジェクト事業(高血圧対策事業、出前型健康の駅事業、特定保健指導等、若者支援事業、いきいきサロン支援事業、子どもの健康づくり事業、企業型健康づくり事業、人材育成事業(フォロー)、機器の保守管理)を実施します。



令和3年度に購入したトレッドミル
(東部健康の駅)

◆がん検診事業（1億4,786万円）

各種がん検診事業を実施し、早期発見、早期治療に結び付け、疾病の予防を図ります。

◆心の健康づくり事業（154万円）

個人のいのちの尊さを認識し、自らのいのちを失うひとがいなくなるよう、心の健康づくり事業を展開し、明るく過ごせる地域づくりを図ります。

◆病院事業費（8億1,825万円）

市立横手病院、市立大森病院の経営の健全化と安定化を図るため、運営資金を提供します。

◆緊急医療対策事業（2億5,661万円）

新型コロナウイルスワクチン接種の実施と、接種会場との往復のタクシーレート一部を助成します。



1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 29億8,498万円

財 源	国のお金	8,111万円	施 策 実 現 の た め の 費	介護保険特別会計繰出金	19億8,126万円
	県のお金	4,408万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億3,580万円
	市の借金	1億7,950万円		市営介護サービス事業特別会計繰出金	2億7,064万円
	その他の	1億495万円		高齢者福祉施設整備助成事業	1億7,950万円
	市のお金	25億7,534万円		その他	2億1,778万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深め、ともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な事業

◆雪下ろし雪寄せ支援事業（3,261万円）

自力での間口除雪や屋根の雪下ろしが困難な世帯へ、課税状況に応じて費用の一部を助成します。間口除雪については併せて業者等をあっせんします。



雪下ろし支援の様子

◆高齢者福祉施設整備助成事業（1億7,950万円）

養護老人ホームひらか荘の民間移行に伴い、施設設置法人に対し施設整備費用の一部を助成します。

1-4 障がい者(児)福祉の充実

事業費 24億9,668万円

財 源	国のお金	12億3,870万円	施 策 実 現 の た め の 費	自立支援給付費	22億3,046万円
	県のお金	5億9,368万円		自立支援医療費給付事業	7,456万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	7,300万円
	その他の	13万円		地域生活支援事業費	6,978万円
	市のお金	6億6,417万円		その他	4,888万円

障がいのある人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な事業

◆地域生活支援事業費（6,978万円）

障がいのある方が自立した日常生活や社会参加ができるよう、利用者の状況に応じた柔軟なサービスの提供や障がいへの理解啓発、ボランティア活動の支援を行います。

◆自立支援医療費給付事業（7,456万円）

身体障害者手帳の交付を受けた方が、手術等の治療を受けることにより身体の障がいが除去・軽減され、日常生活が容易にできるよう医療費の一部を公費により負担します。

1-5 低所得者福祉の充実

事業費 13億 4,063万円

財 源	国のお金	8億6,690万円	施 策 実 現 の た め の 費	一般扶助費	10億1,054万円
	県のお金	600万円		公営住宅整備費	1億2,767万円
	市の借金	8,330万円		公営住宅管理費	1億1,127万円
	その他の	9,440万円		施設事務費	4,956万円
	市のお金	2億9,003万円		その他	4,159万円

住宅の確保が困難になるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らしていることを目指します

主な事業

◆生活困窮者自立促進支援事業 (2,228万円)

生活困窮者の社会的・経済的な自立に向けて、就労支援や住居確保給付金支給など様々なサービスを包括的に提供します。

1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億 8,090万円

財 源	国のお金		施 策 実 現 の た め の 費	総務関係費	1億2,445万円
	県のお金	1,971万円		民生委員児童委員費	3,339万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	1,473万円
	その他の	42万円		敬老事業	783万円
	市のお金	1億6,077万円		その他	50万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増え、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

主な事業

◆地域福祉推進事業委託経費 (9,000万円)

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な地域福祉活動を推進します。

横手市社会福祉協議会が進める地域福祉活動

……地域福祉活動推進事業、ボランティア活動推進事業、生活相談事業、社協活動啓発事業、福祉団体支援事業、福祉のまちづくり事業、福祉教育活動推進事業、協働募金運動啓発事業、生活困窮者自立相談支援事業、ふれあい安心電話システム推進事業、障害者地域生活支援事業、在宅介護支援センター事業、生活支援体制整備事業、避難行動要支援者個別計画策定事業、生活福祉資金貸付事業、福祉サービス利用援助事業の16事業



福祉教育授業 車いす連合会(9/30)

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 2億9,211万円

財 源	国のお金	274万円	施 策 実 現 の た め の 費	学校生活サポート事業	8,538万円
	県のお金	527万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,317万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,088万円
	その他の	2,813万円		小学校要保護及び準要保護就学援助費	1,991万円
	市のお金	2億5,597万円		その他	9,277万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な事業

◆外国語教育・国際理解教育推進事業（5,317万円）

11名の外国語指導助手（ALT）を小・中学校に派遣し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の素地・基礎を育成していきます。また、ALTとの授業や生活を通して、異文化理解を促進し、多様な人々と豊かに共生・協働できる児童生徒の育成を推進していきます。

◆教育相談・不登校適応指導教室事業（942万円）

不登校適応指導教室として、醍醐公民館内に「南かがやき教室」を、大雄農業団地センター内に「西かがやき教室」を設置し、教育相談員、専任指導員、教育相談支援員がそれぞれ勤務をしております。不登校の児童生徒の背景にある、複雑で多岐にわたる問題の解決のために、一人一人の実態を把握し、子どもの心に寄り添い、保護者や学校及び関係諸機関と連携を密にしながら、きめ細かな支援をしております。

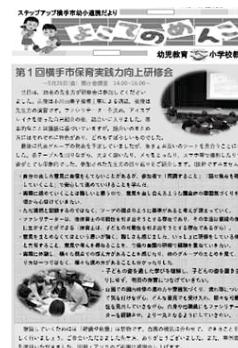
01

ピックアップ

幼児教育推進事業（376万円）

教育・保育アドバイザーを2名配置し、幼児教育の質の向上と幼小の円滑な接続を目的として、公私・施設を超えた幼稚園・保育所・認定こども園で研修支援、巡回訪問を行っております。また、専門性向上のための研修会、幼小の理解促進のための教職員合同研修会も実施しております。

さらに毎月1回、ステップアップ横手市幼小連携だより「よこてのめんこ」を作成し、園内での先生方の研修の様子や子どもたちが遊びを通して学んでいる姿等、写真を多く取り入れて紹介しております。市内各園や小学校、様々な教育施設に配布をし、理解推進に努めております。



【幼小接続とは】

子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼児期の教育（幼稚園、保育園、認定こども園における教育）と児童期の教育（小学校における教育）を円滑に接続し、体系的な教育を組織的に行うことです。

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備 事業費 21億1,101万円

財 源	国のお金	145万円	施 策 実 現 の た め の 費	学校給食事業	5億7,521万円
	県のお金			小学校長寿命化対策事業	5億6,009万円
	市の借金	6億1,120万円		小学校管理費	2億8,904万円
	その他の	3億2,175万円		スクールバス運行事業	1億7,503万円
	市のお金	11億7,661万円		その他	5億1,164万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていきることを目指します

主な事業

◆スクールバス運行事業（1億7,503万円）

児童・生徒の遠距離通学における通学手段の確保と、校外授業などにスクールバスを運行します。また、老朽化に伴いスクールバスを1台更新します。

◆小中学校ICT環境整備事業（1,506万円）

児童・生徒の情報活用能力の育成、ICTを効率的に活用した「わかりやすく深まる授業」の実現のため公衆無線LAN環境の整備を行います。

◆小学校長寿命化対策事業（5億6,009万円）

児童が安全・安心な環境で教育を受けられるように施設環境の充実を図るため改修工事を行います。

2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 事業費 4億4,314万円

財 源	国のお金		施 策 実 現 の た め の 費	屋外体育施設費	2億 953万円
	県のお金			屋内体育施設費	1億4,705万円
	市の借金	1億3,510万円		体育施設総務費	4,858万円
	その他の	1,330万円		スポーツ振興総務費	878万円
	市のお金	2億9,474万円		その他	2,920万円

市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

主な事業

◆スポーツのまちづくり事業（441万円）

市民の健康づくり、大会の誘致を通じて、交流機会の提供や交流人口の拡大を図ります。

◆体育館管理費(雄物川地域)(建設)（4,665万円）

市民が安全に安心して運動施設を利用できるよう、屋内体育施設の改修工事を行います。

◆天下森スキー場整備事業（1億4,509万円）

天下森スキー場の施設整備を行い、横手市唯一のスキー場として利用者の利便性向上し、冬期間の運動促進を図ります。

政策2 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます

34億4,340万円（6.4%）

02**ピックアップ****天下森スキー場整備事業**

天下森スキー場の利便性を高めるため、環境や施設整備を充実させ、冬季スポーツの取り組みを推進します。

ファミリーゲレンデとして多くの方々に愛されている天下森スキー場の全面改修整備を複数年かけて行います。令和4年度は、ナイター照明のLED化、高圧受電設備(キュービクル)の新設、新しいヒュッテの設計などを行い、安全安心で快適にスキーが楽しめる環境を提供していきます。

※予算はP.13下段

**2-4 心を豊かにする生涯学習の推進****事業費 3億9,154万円**

財 源	国のお金	654万円	施 策 実 現 の た め の 費	増田まんが美術館費	1億1,048万円
	県のお金	234万円		図書館費	7,942万円
	市の借金			生涯学習施設費	7,211万円
	その他の お 金	1,347万円		公民館費	6,334万円
	市のお金	3億6,910万円		その他	6,619万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいることを目指します

主な事業**◆横手駅東口新公益施設整備事業（528万円）**

現在の横手図書館が移転し、令和6年度に横手駅東口にオープンを予定している新公益施設に関し、管理・運営方法等を定める「運営基本計画」を策定します。

◆芸術文化推進事業費（290万円）

優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、芸術鑑賞事業（文化芸術による子供育成総合事業、秋田県青少年劇場）や公共ホール音楽活性化事業「おんかつ」を実施します。

◆増田まんが美術館費（1億1,048万円）

横手市増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくり事業を展開します。



特別企画展の様子



増田中美術館鑑賞学習ワークショップ

2-5 よこての伝統文化の継承と再発見

事業費 2億560万円

財 源	国のお金	3,935万円	施 策 実 現 の た め の 事 業 費	埋蔵文化財発掘調査事業	8,537万円
	県のお金	7,343万円		重要伝統的建造物群保存事業	5,208万円
	市の借金	830万円		資料館費	3,524万円
	その他の	86万円		文化財保護総務費	1,493万円
	市のお金	8,366万円		その他	1,798万円

市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な事業

◆重要伝統的建造物群保存事業(5,208万円)

保存地区において、伝統的建造物等の修理・修景事業を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援などを行います。

◆埋蔵文化財発掘調査事業(8,537万円)

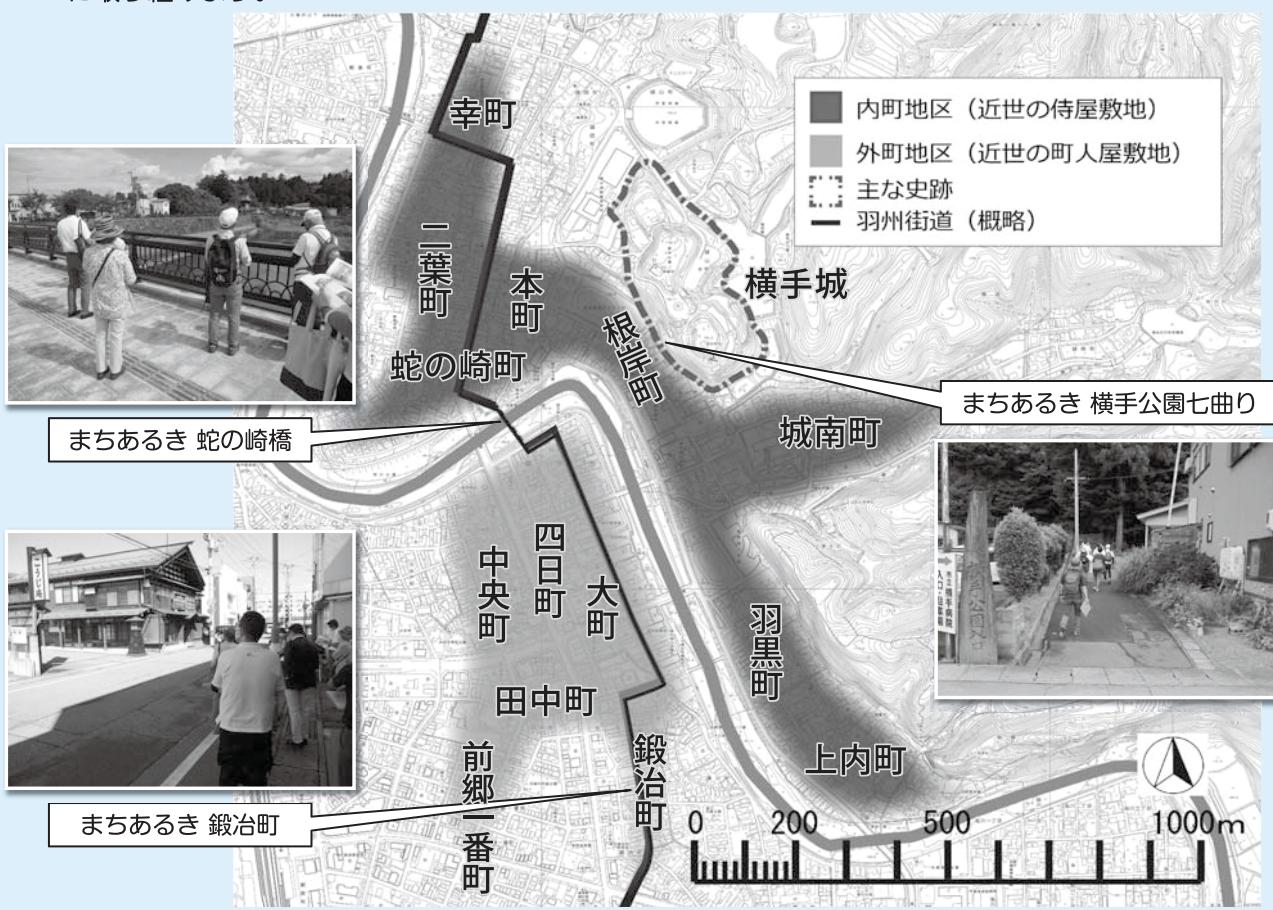
浅舞北部地区の県営ほ場整備事業に伴い分布調査を行い、遺跡が消滅する部分は記録保存の発掘調査を行います。金沢柵の調査は、昨年度に引き続き金沢城跡西麓部で、内容確認調査を実施します。

◆歴史的風致維持向上計画推進事業(782万円)

歴史文化をいかしたまちづくりを推進するため、「まちあるき」を切り口にした横手城下と羽州街道沿いエリアのまちなか回遊性の向上や観光振興等に取り組みます。



金沢柵推定地での柵の検出状況



3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 7,777万円

財 源	国のお金	776万円	施 策 実 現 の た め の 費	特定空家等対策事業	2,397万円
	県のお金	37万円		交通安全対策事業	2,009万円
	市の借金			交通安全施設整備費	1,946万円
	その他の	32万円		市民相談事業	890万円
	市のお金	6,932万円		その他	535万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことを目指します

主な事業

◆市民相談事業 (890万円)

人権相談、法律相談、行政相談、消費生活相談などの市民相談窓口を設置します。



◆特定空家等対策事業 (2,397万円)

空き家の予防、適正管理、利活用を推進し、保安上危険な空き家や周囲に悪影響を及ぼす空き家への対策を行います。

3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 5億 7,601万円

財 源	国のお金	1,283万円	施 策 実 現 の た め の 費	衛生センター費	2億 880万円
	県のお金	6,198万円		斎場施設整備事業	1億8,989万円
	市の借金	2億4,880万円		斎場施設費	6,416万円
	その他の	3,096万円		水と緑の森づくり事業	5,095万円
	市のお金	2億2,144万円		その他	6,221万円

水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息し、まちの美観は損なわれることなく、豊かな自然環境が市民のやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な事業

◆西部斎場整備事業 (1億8,989万円)

現西部斎場を稼働させながら、敷地南側に新たな斎場を建築するとともに、新斎場稼働後は旧斎場を解体し、跡地に駐車場などを整備します。



◆有害鳥獣対策事業 (384万円)

クマやイノシシなどによる人身被害防止や農作物被害軽減のため猟友会の活動を支援します。

◆森や木とのふれあい空間整備事業 (2,931万円)

山内いこいの森の木製階段が経年劣化等により破損したため、撤去し新設工事を行います。
(秋田県水と緑の森づくり税を活用する事業です。)

山内地域に出没したイノシシ(センサーダイヤルによる撮影)

3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 5億8,538万円

財 源	国のお金	548万円	施 策 実 現 の た め の 費	非常備消防経費	1億4,173万円
	県のお金	2万円		常備消防経費	1億3,187万円
	市の借金	2億 390万円		消防施設整備事業	9,542万円
	その 他	530万円		常備消防施設等整備事業	6,480万円
	市のお金	3億7,068万円		その他	1億5,156万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

主な事業

◆河川改修事業（4,838万円）

大雨等による増水に耐えられるよう護岸工事を行い、災害を未然に防止します。



◆雨水排水対策事業(横手駅前地区)（2,000万円）

雨水浸水が発生しやすい横手駅前地区の雨水排水が適切に行われるよう整備します。

◆常備消防経費（1億3,187万円）

消防業務を円滑に推進できる体制を確保するため、消防車両、資機材並びに各施設の適切な保守管理と装備品の貸与を行うとともに、消防学校等における研修や救急救命士の養成等を通じて、組織の充実と活性化を図ります。

◆常備消防施設等整備事業（6,480万円）

消防施設の充実を図るため、消防車両更新計画に基づき消防署高規格救急車、消防署指揮車及び西分署指令車の更新を行うとともに、各施設の適切な保守管理のため、修繕並びに備品の購入を行います。

◆消防施設整備事業（9,542万円）

災害時の被害を最小化するため、消防水利の設置、消防団の小型ポンプ、軽積載車等を配備し、市民の生命や財産を守ります。

高規格救急車



指揮車



指令車



これらの車両を更新します

3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 9億7,354万円

財 源	国のお金	施 策 実 現 の た め の 費	クリーンプラザよこて費	4億5,747万円
	県のお金		ごみ収集費	3億8,833万円
	市の借金		地域資源循環施設費	5,750万円
	その他の		最終処分場管理運営費	3,616万円
	市のお金		その他	3,408万円

市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

主な事業

◆ごみ収集費（3億8,833万円）

家庭からごみ集積所に出されたごみの収集経費や指定ごみ袋作製等に関する経費です。



◆クリーンプラザよこて費（4億5,747万円）

施設の運営維持管理や周辺環境調査などクリーンプラザよこての運営に関わる経費です。安全で確実なごみの焼却と焼却灰を含む資源物の有効利用を図ります。また、ごみの焼却熱で発電した電気を場内で使用するほか、市立全小中学校へも供給しています。

3-5 地球温暖化対策の推進

事業費 180万円

財 源	国のお金	施 策 実 現 の た め の 費	地球温暖化対策事業	146万円
	県のお金		カーボンオフセット地球温暖化対策事業	34万円
	市の借金			
	その他の			
	市のお金			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

主な事業

◆再生可能エネルギー設備等導入促進事業（146万円）

再生可能エネルギーを活用した設備導入や、省エネルギーの取り組みを促し、地球温暖化対策に貢献します。

◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業（34万円）

地球温暖化対策としてカーボン・オフセットの普及を図ります。また、二酸化炭素を減らしたい企業などが二酸化炭素を吸収する森林整備費用の一部を負担する取り組みを推進し、横手の森林を守ります。